

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



心の病と闘っているメンバーと大学生の協働の会 NPO 法人「けやきと仲間」

平成 24 年 6 月 1 日(第 86 号)



「その花は水色」と、ギャラリーのみなさん



「その羽は水色」作品展

5 月 12・13 (土・日) スタジオ検見川の浜で、個展を開きました。

個展は、過去三回喫茶店で開いた経験がありましたが、それと比べると今回はスペースと広さの違いで約 100 点の出品で、「質より量」という形でした。

展示の日にこのようなコンセプトを考えました。

「正直、だれしもが自分の為に、その行いが人々のつながるものであれば、あたたかい輪が世界で華やぐようだろう……」

けやきと仲間が、西千葉の街に溶け込んでいなかったら、実現しなかった個展でした。主に海パスタの K さん、B さんのおかげでもありました。けやきと仲間では F さん、O さんに展示や後片付けを手伝ってもらい感謝です。K さんの差し入れのおにぎりおいしかったです。

当日は、けやきと仲間のメンバーがたくさん訪れてくれました。

一輪のバラが似合わない、全国 555677 位のカールおじさんでした。

皆様、本当にありがとうございました。

「その羽は水色」こと Y.Y



O.Y さん作



I.K さん作

永遠なる共有…

浜辺で水平線に消え行くオレンジ色を見ている…

打ち寄せる さざ波で蹴っ飛ばしながら…

洗われていく 白い影を追い続けて…

～How Low?～

海に向かって叫んでみる 頭悪いな～俺は… 自意識過剰で…

アレクサンドリア・ジェレミーは 俺が作り上げたキャラじゃなく俺自身かもって思ったり

それでも笑ったりできるさ… いつもと同じ様に… すべては移り行くものだから

いつか風のように飛びたいんだ 大空を…

きのう覚えたばかりの歌を口ずさみながら…

美しき永遠なる共有を求めて…

心に茨を持つ少年

新しいプログラム「創作書道」が始まります。

6月から、新しいボランティアのTさんを講師に「創作書道」を始めます。

第1回目の6月1日（金）に皆さんと詳しい進め方を決めていきます。

川
柳

花の名もマンネリ化だぞ誰かさん

寝ぼけまなこバツチリ覚ます金環日食

僕だって電車乗れるよひと駅は

これも愛きみの会費も払うボク

会いたいなこわくなくなるその日には

メール見て即座に分かる君からと

泣いてもうたんねん

あんな
きのう病院行ってな
お医者さんにいわれたんねん

『あなたはあなたのお母ちゃんや
あなた自身が思うとるより
苦しいんや
もっと自分を可愛がりや』

それを聞いたとたん
涙があふれて止まらなかったんや
甘えるなばかり言われて
気張っていた私が
泣いてもうたんねん

幸せな運命

精神障害も板についてきて
作業なんてちよろちよろりと片づける
ちょっと煮詰まったから
音楽でもかけて気分転換と言っても
すでにCDくるくる回ってるし
ああ 追いつめられている
ここでガンガンにヘビメタを鳴らしても
気力が落ちていくばかり
ねえ 心のほどける薬はないの？
効能は『幸せの運命』という
ジェネリックの薬を知らない？



梅雨前線

壊れそうで怖いと
君は怯えながらいった
大丈夫だという僕も
同じくらい怯えた
戸惑うことなく雨
いつまで雨
頭が痛いと言き出した
僕らの空に梅雨前線

詩：Y.H

画：O.Y